

「スポーツ×社会」の イノベーションは 地域から起きる

～スポーツの仕掛け人は、
これからどこで活躍するのか～

参加
無料

10.30 金

13:30～16:30 (13:00受付開始)



日本財団ビル2階
東京都港区赤坂1丁目2番2号

詳細・お申込みはこちらから



Key note Speaker

木村 正明氏



東京大学特任教授
ファジアーノ岡山オーナー

東京大学法学部卒業後、1993年ゴールドマン・サックス入社。債券営業部長、マネージングディレクターを経て2006年に退職し、同時に株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブを創業、代表取締役役に就任。公益社団法人日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）の理事（非常勤）、専務理事（常勤）を務めた後、2022年より株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ筆頭株主。2023年より東京大学先端科学技術研究センター特任教授を務める。

プログラム

【第1部 KEY NOTE】

「逆境からの挑戦 ～誇りを持って地域と生きる～」
木村 正明氏

【第2部 CASE STUDY】

「アクティブシティ構想、地域の最先端を見る」
松澤大介氏（Nスポーツコミッションなよろ）
澁谷茂樹氏（笹川スポーツ財団）

【第3部 CROSS TALK】

「スポーツから生み出す、地域のウェルビーイング」
木村氏、松澤氏、澁谷氏、
阿部 雅司氏（リレハンメルオリンピック金メダリスト）
モデレーター：滝田 佐那子氏
（日本スポーツツーリズム推進機構 地域戦略ディレクター）

いま地方が面白い。現場に立ち続けてチャレンジする、
スポーツ人材のこれからのキャリア形成

スポーツイノベーションの最前線は、いま都市から「地域」へとシフトしています。産業、教育、観光、福祉、コミュニティがスポーツをハブとして融け合うダイナミックな現場。既成概念に縛られない多様なジャンルミックスが、顔の見える関係性の中で形になっていく――。

トップキャリアから地域スポーツビジネスへ身を投じた木村正明氏の軌跡と、笹川スポーツ財団が取り組むスポーツや身体活動から社会課題解決を目指す「アクティブシティ」構想、そのケーススタディとして北海道名寄市の事例を取り上げながら、地域スポーツの可能性とこれからのキャリアを語り合います。